



▶川上社長（左）ら関係者が2月8日、市長に受賞を報告しました。



名人として初の唄い初め会  
新年最初に安来節が響く「平成31年安来節唄い初め会」が1月10日に安来節演芸館で行われました。会場に集まったのは、安来節保存会（会長・近藤市長）会員など約380人。上位昇格者の免状授与や表彰に続き行われた昇格者による演奏と支部共演を楽しみました。  
この日は昨年、絃の名人に昇格した佐々木偉市さんが腕前を披露。佐々木さんは「名人になれたのは先生方のおかげ。これからも良い音色を奏でていきます」と話していました。

▶絃の演奏をする佐々木さん（右）。



えーひだカンパニー団体表彰  
住民主体の株式会社を組織し、地域づくりや産業振興、福祉事業などに取り組んでいる「えーひだカンパニー」が、ふるさとづくり大賞（総務大臣表彰）を受賞。活力ある地域社会づくりががんばっている団体などを表彰する制度で、安来市内では初受賞となりました。  
補助金に頼らない自立した取り組みが新たな地域づくりの提案となる点が評価。同社代表取締役の川上義則さんは「これからも地域に安心感を与える活動を進めたい」と話していました。

「なんでも鑑定団」を収録  
総合文化ホール「アルテピア」開館1周年記念事業として、「出張！なんでも鑑定団」の収録が1月20日に行われました。テレビ東京で放送されている鑑定バラエティ番組「開運！なんでも鑑定団」の人気コーナー。司会は松尾伴内さん、鑑定士は中島誠之助さんと安河内眞美さんが登場しました。  
応募総数150通以上の中から選ばれた出場者6人の鑑定額が発表される度に、満員となった会場から大きな歓声があがっていました。

▶一斉放水の様子。男性だけでなく女性団員も参加します。



一斉放水で決意新たに  
防火や消防活動への決意を新たにしようと「平成31年安来市消防出初式」を1月13日に行いました。  
参加した消防団員など約550人は、式典と通常点検を総合文化ホール「アルテピア」で行った後、安来港へ移動。ポンプ車46台による一斉放水を行いました。  
放水は一部で5色の色水を使用。港の空をカラフルに彩りながら高くそびえた水の柱は、団員の防火や防災の思いと意識の高さを表しているようでした。



放送予定日▼テレビ東京系…放送終了▼山陰放送…4月中